



第12回株主総会終了しました

6月22日第12回株主総会が終了しました。2022年度は保障内容の改定に取り組んだ1年でした。改定に取り組むことによりワーカーズ・コレクティブ所得保障共済（ワーカーズ共済）の存在意義を再確認いたしました。加入団体の皆さんには、お忙しい中、説明会開催や不利益改定の同意をいただきありがとうございました。今後ともワーカーズメンバーの労働をサポートしていく所存ですので、ご支援ご理解よろしくお願い致します。

代表取締役 島田純子

2022年度の主な活動報告

● 加入報告

2022年度は加入311名、脱退290名となり、21名増加し3,203名（個人加入含む）となりました。今年度はコロナ感染拡大による申請件数・保険金の増加により加入拡大を控えたこと、ワーカーズの解散・事業不振等により加入目標は達成できませんでした。個人加入は問い合わせが66件あり22名加入、6名脱退し、期首21名から16名増加し、37名となりました。脱退理由は仕事を辞める、社会保険加入といった理由です。

● 保障内容改定を実施

2021年11月から計9回制度保障検討チーム会議を行い、2022年9月取締役会にチーム報告として改定案を提案し承認されました。10月に関東財務局に改定の申請を行い、2023年1月30日に承認されました。

下方改定となるため「不利益改定の同意書」が必要になり、説明会開催お願いの結果、同意書が必要な団体255団体に説明会をリアルまたはオンライン、電話で行い、「不利益改定の同意書」を全団体（現時点）から受け取りました。

2023年度の主な方針

2022年はコロナ感染による申請が予想外に多くなり、ワーカーズ共済株式会社の経営基盤の問題も浮上してきました。

生活クラブ組合員である主婦が中心となって、もう一つの働き方であるワーカーズを生みだし、中心となって事業・活動を推進してきましたが、専業主婦の減少といった社会状況の変化に伴い、ワーカーズのあり様も変化してきていると考えます。

ワーカーズ共済は、ワーカーズの働き方を支える目的で生まれましたが、基本理念である「お互い様のたすけあい」の共感をどのように広めていくかが、鍵となると考えます。

● 加入促進

期首3,075名からワーカーズは実質増加55名、個人加入は20名を目標とし、年度末（3月1日）3,150名を目指します。

● WNJ全国会議

2023年度は埼玉で全国会議が開催されます。積極的に参加し全国のワーカーズと交流を図ります。

● 実務担当者学習会

2023年度もワーカーズ共済の申請についてなどメンバーの質問、疑問に答える学習会を行います。ワーカーズの共済担当の方以外に個人でぜひここが聞きたいという方も参加できます。



Q 熱が出て風邪かな！と思ったので、お薬を飲んで自宅で安静に過ごしました。

病院の医師の診断を受けていない場合は、申請できません。

Q インフルエンザで休業していましたが、Zoomでの会議に参加しました。

Zoomで会議に参加した場合は、業務をしていたとみなします。その事で休業が連続した5日間にならない場合は、申請できません。

Q 利用者宅へ向かう途中、道路の段差に気づかず転倒して腰を打ったので、近くの接骨院で診てもらいました。

接骨院・整体院は病院ではなく医師の資格を持っていないため申請はできません。但し、整形外科（医師）の診断から接骨院・整体院への通院はOKです。病院の通院 2,000円・接骨院等は 1,000円の保障となります。（就業中傷害通院のみ）休業申請の場合は、通院保障はありませんが、必ず1回でも医師の診察を受けなければ申請はできません。



Q 親が介護状態になったため、田舎に行って半月ほど介護休業しました。

介護休業保障を使えるのは、配偶者のみなので申請できません。

勤務表と分配金（給与）明細書に W.Co 名をお願いします！

最近、勤務表や分配金（給与）明細書に W.Co 名の記載がなく、W.Co のゴム印や W.Co 名と代表者名を記入・押印していただくようお願いすることが多くなりました。



W.Co 名とお名前が確認できる書類が必要なため、今後は書類のご提出前に必ず W.Co 名を印字又は W.Co のゴム印や W.Co 名と代表者名を記入・押印しているか確認のうえお送りいただきますようお願い致します。できましたら、あらかじめ W.Co 名が印字されるような設定にいただければお手間にならないかと思います。

「共済だより」 発行時期のおしらせ

2023年度は、「共済だより」の発行を隔月ではなく、7月・10月・2024年1月の3回の発行となります。